

平成29年11月13日

久留米市高齢者福祉計画及び  
介護保険事業計画推進協議会  
会長 大治太郎 様

地域ケア会議専門部会  
部会長 中島洋子

### 地域ケア会議専門部会における検討結果の報告について

このことにつきまして、地域課題検討ケア会議で議論された事項のうち、全市的課題について検討した結果を報告いたします。

#### 記

#### 1 認知症施策について

(1) 高齢者人口に対する認知症の人の割合が上昇すると見込まれる中で、認知症への正しい理解を深めるための普及・啓発の取り組みや相談窓口の周知を、より一層、強化されたい。

##### 《施策例》

- ・高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターや、地域の身近な相談窓口である民生委員・児童委員（ふれあい福祉相談員）などの周知
- ・認知症を含めた介護に関する相談窓口機能を地域密着型サービス事業所に担っていただく

(2) 必要かつ適切な医療・介護サービスにつながない認知症の人への支援を充実されたい。

##### 《施策例》

- ・認知症初期集中支援チームなど認知症の早期診断・早期対応へ向けた取り組みの充実

(3) 多様な社会資源を活用した認知症の人やその家族を含む住民の居場所づくりを推進されたい。

##### 《施策例》

- ・地域密着型サービス事業所やふれあい・いきいきサロンなど、多様な社会資源を活用した誰もが自由に行けるような居場所づくり

(4) 認知症サポーター養成講座のさらなる充実と、認知症サポーターの活躍の場の拡大を進められたい。

《施策例》

- ・小中学生などを対象とした認知症サポーター養成講座の拡充
- ・認知症サポーターに、認知症の人の話し相手などの世話役を担っていただく

## 2 介護予防事業について

(1) 介護予防活動の普及には、住民の意識醸成と、介護予防に取り組める環境整備が重要である。介護予防サポーター養成等の施策を通じて、介護予防の重要性や手法を啓発するとともに、住民にとって身近な場所で介護予防活動が展開されるよう、環境整備を図られたい。

《施策例》

- ・高齢者の介護予防活動の実施へ向けた、校区コミュニティ組織や老人クラブ、サロン等への働きかけ

(2) 高齢者の社会参加は、介護予防や自立支援の観点から重要である。また、高齢者は、支える側として活躍いただくことも求められている。こうした状況を踏まえた高齢者の社会参加のあり方を、検討されたい。

《施策例》

- ・老人クラブへの加入による社会参加の促進や、支える側としての老人クラブ活動の活性化へ向けた働きかけ
- ・介護予防サポーターに、自宅からコミセンまで移動する際の見守りを担っていただく

(3) 介護予防の推進にあたっては、介護資源の活用だけでなく、医師会、歯科医師会及び薬剤師会などとの十分な連携のもと、さらなる医療資源の活用を、検討されたい。

《施策例》

- ・医師会、歯科医師会及び薬剤師会などから、介護予防についての意見をもらう仕組みづくり